

3 - 2 - 4 特殊部の塗装

(1) 床版端部補強板、桁切り欠き部の塗装は表-3.2.8~3.2.13 に示すものを標準とする。

表 3.2.8 床版端部補強板、桁切り欠き部など

塗装系	適用 塗装系	塗装工程	塗料名	塗料 規格	使用量 g/m ² 回	回 数	塗装 方法	目標膜 厚μm	塗装間隔	施工
AS-1	*1	前処理	素地調整	原板プラスト	ISO	Sa2 1/2		15	X	鋼橋工事等請負者
				SPSS	Sd2, Sh2					
		プライマー	無機ジンクリッチプライマー	SDK P-401	160	1	スプレー	6ヶ月以内 が望ましい		
		工場	素地調整	製品プラスト	ISO	Sa2 1/2		75	X	
				SPSS	Sd2, Sh2					
			下塗り 第1層	無機ジンクリッチペイント	SDK P-411	600	1	スプレー	2日~ 10日	
			ミストコート	エポキシ樹脂塗料下塗	SDK P-413	160 ^{*2}	1		1日~ 10日	
			下塗り 第2層	エポキシ樹脂塗料下塗	SDK P-413	300	1		60	1日~ 10日
			下塗り 第3層	厚膜型エポキシ樹脂塗料下塗	SDK P-417	540	1		120	1日~ 10日
			中塗り	ふっ素樹脂塗料用中塗	SDK P-423	170	1		30	1日~ 10日
上塗り	低汚染型ふっ素樹脂塗料上塗		SDK P-434	140	1	25	1日~ 10日			
X	X	X	X	X	X	X				
X	X	X	X	X	X	X				

*1 床版端部補強板、ゲルバー部、切欠き、鋼橋脚と高欄の近接箇所、支承部、分配桁上面、中間対傾構上弦材上面、上横構上面、上横構の取付ガセット上面、その他塗替困難部、防食板外面および漏水などによる腐食を防止する必要のある桁端部（桁端から約2m）、橋脚胴巻及び根巻部コンクリート天端

*2 エポキシ樹脂塗料下塗 160g/m²を80g/m²のシンナーで希釈したものをを用いる

(2) R C 床版を有する箱桁上面密閉部の塗装は、表-3.2.9 に示すものを標準とする。

表 3.2.9 箱桁上面密閉部

塗装系	適用 塗装系	塗装工程	塗料名	塗料 規格	使用量 g/m ² 回	回 数	塗装 方法	目標膜 厚μm	塗装間隔	施工	
AS-2	箱桁上面密閉部	前処理	素地調整	原板プラスト	ISO Sa2 1/2				 	鋼橋工事等請負者	
					SPSS Sd2, Sh2				プラスト後直ちに		
			プライマー	無機ジンクリッチプライマー	SDK P-401	160	1	スプレー	15		6ヶ月以内
		工場	素地調整	製品プラスト	ISO Sa2 1/2						6ヶ月以内 が望ましい
			下塗り 第1層	無機ジンクリッチペイント	SDK P-411	600	1	スプレー	75		プラスト後直ちに
			ミスト コート	変性エポキシ樹脂塗料内面用	SDK P-414	160 ^{*1}	1		-		2日~ 10日
			下塗り 第2層	変性エポキシ樹脂塗料内面用	SDK P-415	410	1		120		1日~ 10日
下塗り 第3層	変性エポキシ樹脂塗料内面用		SDK P-415	410	1	120	1日~ 10日				
							 				

*1 変性エポキシ樹脂塗料内面用 160g/m²を 80g/m²のシンナーで希釈したものを用いる

(3) 防食板内面の塗装は、表 3.2.10 に示すものを標準とする。

表 3.2.10 防食板内面

塗装系	適用 塗装系	塗装工程	塗料名	塗料 規格	使用量 g/m ² 回	回 数	塗装 方法	目標膜 厚μm	塗装間隔	施工	
AS-3	防食板内面及びその部分の橋脚外面	前処理	素地調整	原板プラスト	ISO Sa2 1/2				 	鋼橋工事等請負者	
					SPSS Sd2, Sh2				プラスト後直ちに		
			プライマー	無機ジンクリッチプライマー	SDK P-401	160	1	スプレー	15		6ヶ月以内
		工場	素地調整	製品プラスト	ISO Sa2 1/2						6ヶ月以内 が望ましい
			プライマー	無機ジンクリッチプライマー	SDK P-401	160	1	スプレー	15		プラスト後直ちに
			下塗り 第1層	アスファルトプライマー	-	200	1		-		2日~ 10日
							 				